

令和 4 年取扱全貨物量の概要

取扱全貨物量については、グラフ 1 のとおり、外貿貨物が 2,096,720 トン（前年比-7.3%）、内貿貨物が 993,638 トン（前年比+2.4%）、合計が 3,090,358 トン（前年比-4.4%）となった。

上位 5 品種については、表 1 のとおり、「窯業品」、「セメント」が増加したが、「石炭」、「揮発油及びその他の石油」、「木材チップ及び薪炭」は減少した。

「石炭」が全体の 55.2%を占めており、また、上位 5 品種で酒田港全貨物量の 79.5%を占めている。

グラフ 1 過去 5 年間の全貨物量の推移

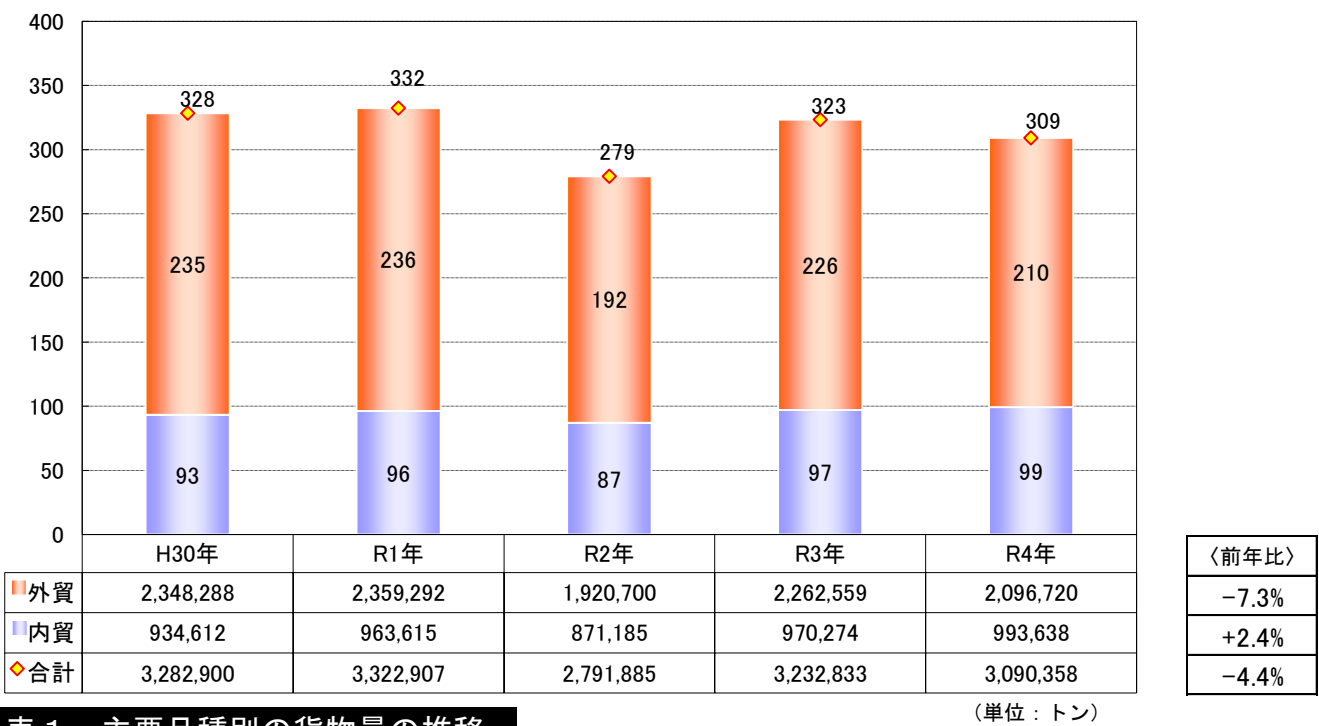


表 1 主要品種別の貨物量の推移

(単位：トン)							
品 種	H30	R1	R2	R3	R4	割合	前年比 R4/R3
石炭	1,807,082	1,804,036	1,449,986	1,783,713	1,706,517	55.2%	-4.3%
揮発油及び その他の石油	383,075	367,731	330,869	326,517	311,503	10.1%	-4.6%
窯業品	163,140	176,837	131,619	188,847	198,058	6.4%	4.9%
セメント	120,594	113,211	143,345	118,547	128,627	4.2%	8.5%
木材チップ及び 薪炭	88,909	130,510	106,153	121,566	112,287	3.6%	-7.6%
その他	720,100	730,582	629,913	693,643	633,366	20.5%	-8.7%
合計	3,282,900	3,322,907	2,791,885	3,232,833	3,090,358	100.0%	-4.4%

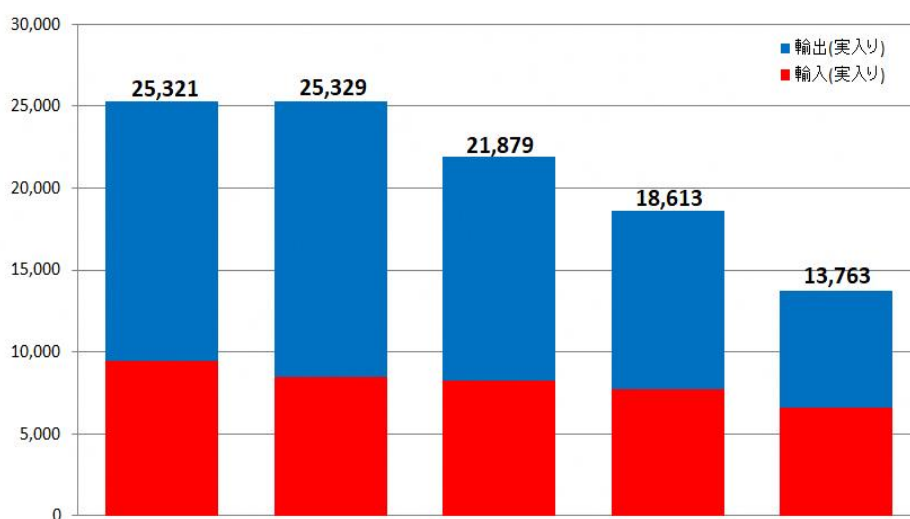
令和4年コンテナ貨物量の概要

コンテナ貨物量（実入りコンテナ）については、グラフ2のとおり、輸出が7,184TEU（前年比-34.1%）、輸入が6,579TEU（前年比-14.7%）、輸出入合計が13,763TEU（前年比-26.1%）となった（コンテナ取扱個数（空コンテナ込み）については、【参考】のとおり）。

品種別では、表2のとおり、輸出量上位5品種では「電気機械」が増加し、「その他日用品」、「再利用資材」、「その他製造工業品」、「自動車部品」が減少した。輸入量上位5品種では「化学薬品」が増加し、「木製品」、「製造食品」、「自動車部品」、「紙・パルプ」が減少した。

グラフ2 過去5年間のコンテナ貨物量の推移

（単位：TEU）



種 別		H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	〈前年比〉
実入り コンテナ	輸出	15,848	16,823	13,634	10,897	7,184	-34.1%
	輸入	9,473	8,506	8,245	7,716	6,579	-14.7%
	合計	25,321	25,329	21,879	18,613	13,763	-26.1%

【参考】 コンテナ取扱個数（空コンテナ込み）

空 コンテナ	輸移出	4,860	3,458	4,864	4,395	4,424	+0.7%
	輸移入	11,070	12,313	9,275	7,938	3,843	-51.6%
空コンテナ込合計		41,251	41,100	36,018	30,946	22,030	-28.8%

（単位：TEU）

表2 主要品種別のコンテナ貨物量の推移

（単位：TEU）

輸 出							輸 入						
品 種	H30	R1	R2	R3	R4	前年比 R4/R3	品 種	H30	R1	R2	R3	R4	前年比 R4/R3
その他日用品	13,448	14,400	11,488	8,990	5,545	-38.3%	木製品	971	909	894	1,048	924	-11.8%
再利用資材	664	554	390	410	254	-38.0%	化学薬品	701	629	655	716	738	+3.1%
その他製造工業品	360	437	328	299	250	-16.4%	製造食品	1,005	968	927	906	622	-31.3%
自動車部品	264	276	264	297	194	-34.7%	自動車部品	462	497	599	629	622	-1.1%
電気機械	197	234	192	163	172	+5.5%	紙・パルプ	1,310	1,070	732	706	502	-28.9%
その他	915	922	972	738	769	+4.2%	その他	5,024	4,433	4,438	3,711	3,171	-14.6%
合 計	15,848	16,823	13,634	10,897	7,184	-34.1%	合 計	9,473	8,506	8,245	7,716	6,579	-14.7%

※四捨五入の関係上、内訳項目を合計したものが、合計と一致しない場合がある。

令和4年リサイクル貨物量の概要

リサイクル貨物量については、グラフ3のとおり、合計で424,140トン（前年比-6.0%）であった。

リサイクルポートに指定された平成15年の196,821トンと比較すると約2.2倍となっている。

品目別では、表3のとおり、「石炭灰」が増加した。

グラフ3 リサイクル貨物量の推移

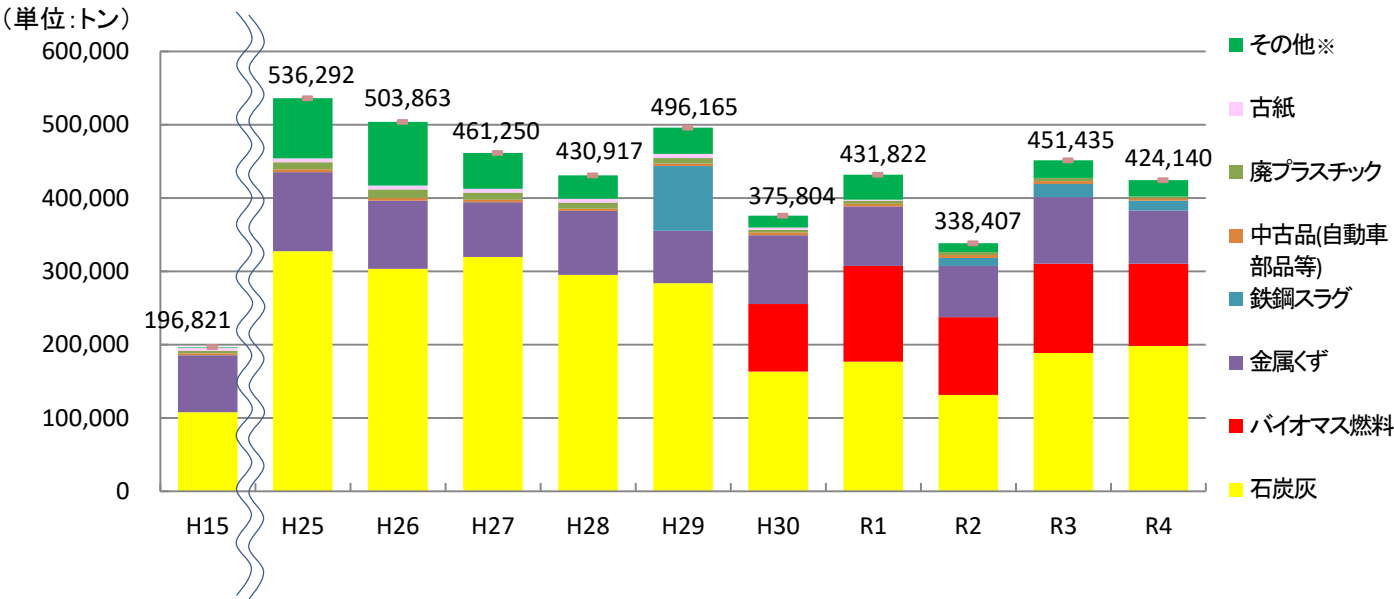


表3 主要品目別のリサイクル貨物量の推移

(単位:トン)

主 要 品 目	H15	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	前年比 R4/R3
石炭灰	107,963	327,295	303,490	319,513	295,305	283,834	163,094	176,811	131,581	188,800	198,037	+4.9%
バイオマス燃料	0	0	0	0	0	0	92,335	130,454	105,837	121,450	112,194	-7.6%
金属くず	77,430	107,852	92,709	74,657	87,188	71,360	93,968	81,283	69,873	90,884	72,626	-20.1%
鉄鋼スラグ	0	0	0	0	0	88,375	0	0	11,000	18,060	13,360	-26.0%
中古品(自動車部品等)	2,948	4,166	3,636	3,420	3,142	3,601	3,766	3,626	3,940	4,030	3,160	-21.6%
廃プラスチック	3,260	9,300	11,876	9,658	8,180	7,500	3,720	4,320	3,840	4,100	2,540	-38.0%
古紙	4,560	5,620	5,340	5,360	5,200	5,580	2,860	1,220	0	0	0	-
その他※	660	82,059	86,812	48,642	31,902	35,915	16,061	34,108	12,336	24,111	22,223	-7.8%
合 計	196,821	536,292	503,863	461,250	430,917	496,165	375,804	431,822	338,407	451,435	424,140	-6.0%

※その他：廃土砂など